

平成30年度第2回江別市学校給食会理事会議事録

日 時	平成31年3月26日（火）15時01分～15時55分
場 所	江別市立学校給食センター 研修会議室
出席理事	中村理事長、萬副理事長、佐藤理事、鎌田理事、横山理事、遠藤理事、大野理事、長谷川理事、林理事（9名）
欠席理事	野澤理事、松下理事（2名）
事務局	鈴木（知）事務局長、森山事務局次長、鈴木（正）事務局員、木村事務局員（4名）
傍聴者	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 理事長挨拶 3. 議事 <ul style="list-style-type: none"> 報告事項第1号 平成30年度江別市学校給食会計決算見込について 報告事項第2号 平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算見込について 議案第1号 平成31年度江別市学校給食会事業計画（案）について 議案第2号 平成31年度江別市学校給食会計予算（案）について 議案第3号 平成31年度江別市学校給食会運営事務会計予算（案）について 4. その他 5. 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 江別市学校給食会理事名簿 ・ 平成30年度江別市学校給食会計決算見込 ・ 平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算見込 ・ 平成31年度江別市学校給食会事業計画（案） ・ 平成31年度江別市学校給食会計予算（案） ・ 平成31年度江別市学校給食会運営事務会計予算（案）

▼会議内容

【開会】

○事務局長（鈴木センター長）：

皆さま、こんにちは。

定刻になりましたので、『平成30年度第2回江別市学校給食会理事会』を始めさせていただきます。

本日は年度末のお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

事務局長の鈴木でございます。

今回は、平成30年度の決算見込のご報告と平成31年度の予算案を提出いたしますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

本日は全委員11名中、現在のところ9人の委員のご出席をいただいておりますことから本理事会が成立しておりますことをご報告いたします。

まず、資料の確認ですが、お手元にお配りしました資料は、

- ・ 次第
- ・ 江別市学校給食会理事名簿

- ・平成30年度江別市学校給食会計決算見込
- ・平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算見込
- ・平成31年度江別市学校給食会事業計画（案）
- ・平成31年度江別市学校給食会計予算（案）
- ・平成31年度江別市学校給食会運営事務会計予算（案）

一式となっております。

不足等ございましたら、事務局にお申し出ください。

本日は、野澤理事、松下理事より、所用により欠席という事で、事前にご連絡をいただいております。

それでは、ただいまより、平成30年度 第2回 江別市学校給食会理事会を開会いたします。

開会にあたりまして、中村理事長より挨拶を申し上げます。

○中村理事長：

皆様、こんにちは。

年度末の忙しい中そして足元の悪い中お集まりいただきまして、この会議は平成30年度の決算と
いうことであります。また次年度の計画もありますので、たくさんの意見をいただきたく思います。

疑問やいろいろな考え方など意見を積極的に出していただき、実り多い話し合いになればと思いま
すので、よろしく願いいたします。

○事務局長（鈴木センター長）：

中村理事長、ありがとうございました。

続きまして、議事に入る前に、江別市学校給食会理事会の公開につきましてご説明いたします。

江別市では、江別市情報公開条例第20条の規定により、市民の市政への参画を促進するとともに
公正で透明な市政を推進するために、関連する審議会等は支障のない限り公開を原則としており、こ
の理事会でも傍聴を認めております。

また、会議の議事概要として、発言内容を発言者の氏名とともに市のホームページ等で公開いたし
ますので、ご了承いただきたいと思えます。

本日は、傍聴者がいらっしゃいませんので、このまま進めさせていただきたいと思えます。

【議事】

○事務局長（鈴木センター長）：

それでは、次第の3. 議事に入りたいと思えます。これ以降の議事の進行につきましては、中村理
事長、よろしく願いいたします。

○中村理事長

それでは、

報告事項第1号 平成30年度江別市学校給食会計決算見込について

報告事項第2号 平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算見込について、
事務局から一括して、説明願います。

【報告事項第1号 平成30年度江別市学校給食会計決算見込について】

○事務局長（鈴木センター長）：

まず報告事項資料1ページをお開きください・

「報告事項第1号、平成30年度江別市学校給食会計決算見込書（収入）」をご覧ください。

こちらは、平成30年度江別市学校給食会計決算における収入の見込みになります。

それでは、主要科目について説明いたします。

一段目、前年度からの繰越金で589万3,485円です。

次に、児童給食費は、当初予算に比べて403万898円増加し、3億642万1,898円を見込んでいます。

次に、生徒給食費は当初予算に比べて90万7,506円減少し、1億8,744万494円を見込んでいます。

児童給食費と生徒給食費の増減の要因といたしましては、児童給食費は転入等の増加に伴い予算策定時より食数の増加が見込まれることによるもの。また、生徒給食費は、予算策定時より食数の減少が見込まれることによるものであります。

職員給食費、父母試食費、過年度収入、雑入につきましては、ご覧のとおりになります。

最後に一番下の段になりますが、合計では、予算現額5億431万4,000円に対しまして、収入見込額は、5億1,105万2,811円となり、673万8,811円増の見込となっています。

次に、2ページの報告事項第1号の資料1「平成30年度江別市学校給食会決算見込書（現年度分）収入」をご覧ください。

ただいま説明いたしました収入のうち、給食費に係る調定額、収入見込額、未納見込額、収納率を記載しています。

一段目、児童給食費収入の収納率は、98.35%、生徒給食費収入の収納率は、98.30%となる見込みです。

これに、職員給食費と父母試食費を加えた合計調定額は、5億653万5,528円、収入見込額は、4億9,815万3,148円となり、全体の収納率は98.35%となる見込みです。

平成29年度の収納率は98.31%でしたので比較すると、0.04ポイント高くなる見込みです。

次に3ページの資料2、「過年度分給食費年度別納入状況調書及び不納欠損処分内訳調書」は、平成18年度から29年度までの過年度の収納等の状況になります。

次に4ページの「平成30年度江別市学校給食会計決算見込書（支出）」をご覧ください。

一番上の段の主食費は、予算額より40万4,325円の減、次の副食費は、予算額よりも12万2,135円の支出減となる見込みです。牛乳費以下につきましては、ご覧のとおりです。

今年度は、原材料費の価格の上昇などがあったことから、昨年度に引き続き、メロンパン等の比較的単価の高い主食を減らしたことが、また、栄養教諭が栄養摂取基準を守りながらこれまで以上に献立の作成に工夫を凝らしたことが、結果的にこのような支出の減少につながったと見ております。

表の一番下段になりますが、支出見込額の合計は、予算現額5億431万4000円に対して、5億276万8,908円となります。

表の下段欄外に記載のとおり、収入見込額5億1,105万2,811円と支出見込額の合計5億276万8,908円との差額は、828万3,903円となり、この残額につきましては、平成31年度に繰り越すこととなります。

【報告事項第2号 平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算見込について】

次に5ページの報告事項第2号「平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算書（収入）」をご覧ください。

市補助金は、江別市からの補助金で、予算現額2,099万3,000円と同額が入金されていますので、収入見込額は予算と同額です。

次に6ページの「平成30年度江別市学校給食会運営事務会計決算書（支出）」をご覧ください。
各科目ごとの予算現額、支出見込額等につきましては、ご覧のとおりとなります。
表の下段欄外をご覧ください。収入見込額2,099万3,000円と支出見込額の合計
2,082万8,606円との差額は、16万4,394円となり、この残額については、市へ返納
することとなります。

以上で報告事項第1号及び第2号の説明を終わります。

○中村理事長：

事務局から報告事項の説明がありました。ご質問ありませんか。
どんな細かいことでもかまいませんのでいかがでしょうか。

○萬副理事長：

2、3説明を詳しく聞きたいところがあります。
報告事項第1号と2号の会計が学校給食会計と学校給食会運営事務会計と二つに分けている理由に
ついて詳しく説明していただきたい。

○事務局次長（森山業務係長）：

詳しく述べますと、学校給食会計は収入が保護者の方々が支払う給食費です。そこから給食の食材
を購入しております。先程の資料にあるように予算規模が約5億円の収入・支出になっております。
詳しく述べますと、収入については小中学校の保護者の方々が支払った給食費、給食センター職員
の給食費、試食会費のほか、過年度収入などを合わせて約5億円。この中から一年間の主食、副食、
牛乳のほか、インフルエンザ等で学級閉鎖等した場合の給食代替品、他に消費税を支出しています。
学校給食会運営事務会計は、学校給食会計を動かす為の事務にかかる会計になります。支出としま
しては、学校給食会職員の賃金・給料、購入した食材費を振込む時の振込手数料、他に滞納者への連
絡に使う通信費などがあります。その他、給食費徴収業務に使用する車の燃料費なども支出してあり
ます。これらは学校給食法に定められているとおり、学校設置者が事務費を負担することになってお
り、江別市からの補助金が収入となっております。

○中村理事長：

説明を受けてどうですか。ご理解いただけましたか。

○萬副理事長：

学校給食法に根拠をおいて、会計を二つに分けて適正に事務管理していることが分かりました。
説明の中で滞納・未納についての説明もありましたが、平成30年度の過年度収入の見込額が予算
よりも大幅に多く収入増になることについての中身を説明していただきたい。

○事務局長（鈴木センター長）：

過年度の未納分の徴収に関してですが、学校給食会には徴収事務職員がおり、ほかの職員と連携し
ながら未納の処理を行っております。主な徴収の方法としましては、自宅への訪問に重点を置きなが
ら電話での催促や夜間納入相談窓口の開設など、未納者に来ていただけるような取り組みを行って
います。

また、保護者の了解を得たうえで児童手当から未納分を天引きする方法もっております。

平成30年度の過年度徴収率が上がっておりますが、今までも徴収には全力を尽くしてきたところ
ですが、今後も連携を密にしなが徴収の取り組みを強化してまいります。

○萬副理事長：

2 ページの収納率の数字 98.35% は一部の方がお支払していないということですが、この収納率の管内的な位置づけ、順位など分かれば教えていただきたい。

○事務局長（鈴木センター長）：

平成 28 年度の数字になりますが、札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市の石狩管内 6 市のうち収納率の順位でいくと札幌市の 99.45%、北広島市の 98.85%、千歳市の 98.78%、恵庭市の 98.5% となり、江別市は管内 6 市のなかでは 5 番目となる 98.34%、石狩市は 98.31% となっています。札幌市を除いた各市との状況は 0 コンマ数% の差になっています。

○中村理事長：

私から一つよろしいですか。

資料の 1 ページを見ると、児童給食費は増加しているが、生徒給食費は減収しているのは何らかの理由があるのか教えていただきたい。

○事務局長（鈴木センター長）：

当初予算は 3 月の最終の生徒数と給食単価との日数で予算を立てますが、減収となった額は年額で 13 人分相当となります。明確な理由はわかりませんが、当初の予想より人数が減ったと事務局は考えています。

○中村理事長：

詳しい理由について調査はしていますか。学校によっては不登校の子の給食をカットしたからということはありませんか。

○事務局長（鈴木センター長）：

前年も同様の傾向でありました。残念ながら原因は絞り込めてはいませんが、理事長が言うように不登校の子の分も影響していると考えられます。

○中村理事長：

わかりました。ちなみに来年の見込みはどうですか。

○事務局次長（森山業務係長）：

平成 31 年度も収入見込みが同じ傾向になるかどうかはわかりませんが、平成 31 年度の予算作成時に使用した平成 31 年 3 月 12 日現在の児童・生徒推計値では、平成 30 年度の実数と比べてわずかながら人数が減っているため、当初予算額は平成 30 年度と比べて下がることとなります。

○中村理事長：

ほかにどうでしょうか。

○大野理事：

3 ページの不納欠損処分内訳調書を見ると、古いほうは年々未納の回収が難しくなってことが見受けられますが、何か原因があるのでしょうか。

○事務局次長（業務係長）：

古いものはお子さんが既に卒業していたりすることから、支払いに対しての保護者の意識が薄くなりがちな傾向があります。そういう意味で、できるだけ現年度の未納を減らすことを重視し、過年度の未納についても新しいほうの年度分から減らすよう取り組みを進めています。もちろん古いほうの年度についても保護者に対しての働きかけはしておりますが、なかなか進んで行かないのが現状です。

○大野理事：

調定額というのが、その年度の入金にならなかった部分の数字になるのでしょうか。

○事務局次長（森山業務係長）：

そのとおりです。平成30年6月の時点で各年度の未納の総額が調定額になっております。その見込は②のとおりで、平成31年度に引き継ぐことになることを表しているのが③になります。

○大野理事：

平成30年度の未納額の見込みは、ある程度は出ているのでしょうか。

○事務局次長（森山業務係長）：

支払の約束については多く取付けており、未納者それぞれに合った形で支払が進んでいます。但し残念ながら途中で約束が実行されなくなる場合もありますので、改めて電話や訪問を行っていますが、確実に納付されるかどうか不明確な場合もあります。

○大野理事：

平成30年度については、見込額は出ていないということですね。

○事務局次長（森山業務係長）：

資料に記載された額が見込みではありますが、先ほどご説明したとおり、変動する要素があります。

○大野理事：

ちなみに時効や法的な措置はあるのでしょうか。

○事務局次長（森山業務係長）：

学校給食費は私法上の債権で、時効は2年です。時効の援用という手続きを取った場合は、支払う必要がなくなります。過去に問い合わせが一件あったと聞いたことがありますが、実際に援用した事例はありません。

ただ、そういう考えのある方は支払に対してむしろ意識があり、こちらのアプローチにまったく応じない方への対応の方が大変だと考えています。

○中村理事長：

大野理事の質問は大変大事なことだと思います。

○大野理事：

収入見込み額や未納の回収額は増えてきているとはいえ、現年度の未納額を少なくしていかないと未納の調定額は膨らんでいき、いつまでも解決にならないと思います。

その手立てとして何か策を考えていますか。

○事務局長（鈴木センター長）：

未納の調定額を増やさない策としては未納を出さないことが一番です。今年度から一か月分、二か月分ためた方にも電話掛けをして催促しています。そうすることで未納額を大きくしない、増やさない。一、二か月なら払えるが、未納月が長くなるとどんどん払いにくくなることから、今年度から積極的に催促し、現年度の未納の調定額を増やさないという策を取っております。

○中村理事長：

昨年の会議の中でも、事務局の働きかけで未納が減ってきたとありました。ぜひその努力を続けていただき良い結果になればと思います。期待しています。

質問がなければ、議事の審議に移ってよろしいでしょうか。

報告事項第1号、第2号についていかがでしょうか、異議ありませんか。

〈異議なし〉

○中村理事長：

報告事項は承認されました。

【議案第1号 平成31年度江別市学校給食会事業計画（案）について】

○中村理事長：

それでは、事務局から議案第1号「平成31年度江別市学校給食会事業計画（案）」から議案第3号「平成31年度江別市学校給食会運営事務会計予算（案）」まで一括で説明願います。

○事務局長（鈴木センター長）：

「議案資料 平成31年度江別市学校給食費算定資料」の1ページをお開き願います。

「議案第1号 平成31年度江別市学校給食会事業計画（案）」をご覧ください。

1の基本方針はこれまでどおり、『本会は、学校給食の教育的な観点に基づき、学校における食に関する基本的な生活習慣の習得などを円滑に実施するため、良質かつ低廉で安全な学校給食を供給し、給食内容の充実とともに学校給食の円滑な運営実施を図ることを基本とする。』としています。

次に、重点事項につきましては昨年度と同様になりますが、各項目について説明いたします。

（1）で学校給食の適正実施等について、（2）、（3）では、地場産及び道内産の食材を優先して使用することとしています。

（4）については、東日本大震災から8年が経過しましたが、いまだに食材の放射能汚染の危惧が払拭されておらず、放射能検査も継続されていることから、「食材産地の情報提供等」についての項目を残しており、（5）は食育の推進、（6）は、公立小中学校における校内体制や全体計画に基づき、「第3次江別市食育推進計画」の目標達成について示しております。

最後に、（7）は給食センター各種事業の推進に協力するとしています。

なお、基本方針及び重点事項につきまして、何か修正した方が良い点がありましたら、後程ご審議くださいますようお願いいたします。

次に2ページからは、平成31年度の江別市学校給食費の算定資料になります。

2ページの「平成31年度 学校給食費について」をご覧ください。

学校給食の算定にあたっての方針を記載しています。

冒頭に記載のとおり、牛乳の単価増額や主食の食材価格の値上げなどがあり、主食費、牛乳費が増額となるものの、副食費の減額により、総額で考えた時に現行の給食費単価で賄うことが可能である

と判断し、1食単価を平成30年度と同額とすることをご提案です。

次に、1の給食費についてご説明いたします。

(1)の1食単価ですが、今年度と同様の小学校低学年268円、中学年271円、高学年274円、中学校327円となります。

次に(2)の主食費ですが、

平成31年1月に北海道学校給食会から示された主食の原材料費の予定価格によりますと、パン及びラーメンの原料である道産強力小麦粉は、前年の約6.7%に引き続き、平成30年度比で約5.7%の値上げとなり、精米の価格も、前年度比1.0%の値上がりとなることから、平成31年度においては主食費を一食当たり小学校低学年が1.27円、中学年が1.40円、高学年が1.69円、中学校が1.73円増額します。それぞれの単価は小学校低学年77.27円、中学年80.40円、高学年83.69円、中学校は91.73円となります。

次に、(3)の牛乳費についてです。

牛乳は、現行どおり200ccパックのものを提供します。

牛乳価格は、北海道農政部が全道を区域分けして入札した結果、平成31年度価格は44円14銭で、税込47円67銭1厘となります。

このことから、平成31年度の牛乳単価は、1銭未満を四捨五入し平成30年度より1.67円高い税込47.67円とします。

次に、(4)の副食費についてです。

副食費は主食費と牛乳費の増額分を吸収しますので、小学校低学年は、2.94円、中学年は3.07円、高学年は3.36円、中学校は3.40円減額します。それぞれの単価は小学校低学年143.06円、中学年は、142.93円、高学年は、142.64円、中学校は、187.60円となります。

食材費の内訳ですが、江別産野菜の価格は、平成31年2月21日に地場産農産物の利用推進に係る会議を開催し、品目の単価は前年度とほぼ同額とすることで決定しています。

その他の食材は値上がりしているものもありますが、上記の単価で足りるよう献立や食材の選定を工夫していきます。

次に、3ページの「平成26年度～平成31年度の給食費年度別推移」をご覧ください。こちらは、前回給食費を改定した平成26年度から平成31年度までの給食費の年度別推移になります。

主食費、牛乳費は増額していますが、その分、副食費を減額することにより、1食単価を維持しています。

2ページにお戻り願います。

2.年間給食日数についてご説明いたします。

平成31年度は、平成30年度の204日から3日減の201日で、校長会と調整しています。

給食提供日数は、天皇陛下の即位の関係で、昨年度より3日間少なくなっています。

なお、1週間における主食の種類別回数は変更なく、米飯2.5回、パンは1.5回、麺は1回です。

【議案第2号 平成31年度江別市学校給食会計予算（案）について】

次に、4ページの「議案第2号 平成31年度江別市学校給食会計予算書案（収入）」をご覧ください。

一段目、繰越金は、4ページの報告事項第1号で説明したとおり、828万3千円となります。児童給食費から雑入までの本年度予算額はご覧のとおりとなり、合計では、昨年度より170万7千円増の5億602万1千円となります。

次に、5ページの「平成31年度江別市学校給食会計予算書案（支出・案）」をご覧ください。

一段目の主食費は、先程ご説明した単価に学校・学年別の児童生徒数と予定食数を掛けて算定しています。

副食費、牛乳費につきましても、主食費と同様に、それぞれの単価に学校・学年別の児童生徒数と予定食数を掛けて算定しています。

給食代替品費、公課費は、ご覧のとおりとなります。

このことから、支出の予算額も収入の予算額と同額の5億602万1千円で計上しています。

【議案第3号 平成31年度江別市学校給食会運営事務会計予算（案）について】

続きまして、6ページの議案第3号「平成31年度江別市学校給食会運営事務会計予算書案（収入）」をご覧ください。

運営事務会計は、学校給食会職員の給料や委託料などの経費を賄うため、江別市からの補助金を受けているもので、学校給食センター費として2,145万6千円予算措置されていますので、同額を収入に計上しています。

7ページは、「平成31年度江別市学校給食会運営事務会計予算書案（支出）」についてです。

各科目ごとの予算金額につきましては、ご覧のとおりとなります。

合計で収入金額と同額の2,145万6千円となり、前年度比46万3千円の増となっています。

以上で審議事項第1号から第3号の説明を終わります。

○中村理事長：

審議事項第1号から第3号まで説明がありましたが、修正が必要なところはありませんか。

質問はありませんか。

○萬副理事長：

給食費の1食単価が昨年度と同額ということの提案でした。副食費にしわ寄せが行っているところを、いろいろな工夫をしながら、今年度もこの単価で行けると判断したということですが、他の市町村の動向を把握している範囲で教えてください。平成30年の春に札幌市や他も値上げしているようですが、その後についても教えてください。

○事務局長（鈴木センター長）：

主に石狩管内の状況になりますが、平成30年度に札幌市が改定しています。また、平成31年4月から恵庭市が改定することになっています。それ以外の千歳市、北広島市、石狩市につきましては江別市と同様、平成31年10月の消費税の改定の影響を見ながら、2020年度の改定を検討する

ということ聞いております。

○中村理事長：

消費税が10月に上がるということで、それに対する対応として江別市は副食費で工夫するのは大変な苦勞があると思います。そのほかに質問はありませんか。

〈なし〉

○中村理事長：

それでは審議に入ります。議案第1号から議案第3号までを承認することとしてよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

○中村理事長：

議案は承認されました。

議事はすべて終了しましたが、事務局からその他何かありますか。

【その他、給食費について（事務局から）】

○事務局長（鈴木センター長）：

先ほど、萬副理事長から給食費の動向についての質問もありましたが、この場をお借りして給食費の状況について改めてご説明させていただきます。

議案資料3ページ「平成26年度～平成31年度の給食費年度別推移」をご覧ください。

平成26年度に現在の単価に改定してからの主食費、副食費、牛乳費、1食単価の状況になります。1食当たりの単価は変わっていませんので、主食費、副食費の上昇分を副食費で吸収していることが分かります。

5年間で副食費にかけられる費用が、小学校では低学年が6.50%、中学年が6.58%、高学年が6.77%のマイナス。中学校では5.25%のマイナスになっていることが分かります。

この5年間、栄養士の献立作成の工夫により、文部科学省の栄養摂取基準を守りつつ、魅力的な献立づくりに努めてきましたが、その工夫もそろそろ限界に近づきつつあります。さらに10月には消費税が10%に改定されることもありますので、再来年度の2020年度には、給食費単価の改定を検討せざるを得ないと考えております。

消費税は、飲食料品（食品表示法に規定する食品（酒税法に規定する酒類を除く）を8%に据え置く軽減税率が実施されますが、給食の調理に使われる料理酒やワインは酒税法に規定されておりますので10%が適用されますし、食材の梱包費、運送費などの輸送コストや、野菜の種子や肥料なども軽減税率から外れることから、増税の影響は少なからぬものがあると考えています。

先程もお話ししましたが、他市と情報交換したところでは、江別市と同様、食材費の高騰には頭を痛めているところですが、消費税の動向も見なければならぬということで、2020年度の改定を検討するにあたり苦慮しているとも聞いております。

この様な状況からも、平成31年度は翌年度に向けて、給食費単価の改定を検討することになります。給食費の改定を行う場合は、当理事会において改定案をお諮りし、承認を得る必要がございますので、6月の決算報告とは別に、9月から11月ごろに2回程度、理事会を開催させていただくことになると考えております。

業務ご多忙とは存じますが、よろしく願いたします。
事務局から以上です。

○中村理事長：

今の説明に、ご質問はありませんか。

私からよろしいですか。

数字は確定していないでしょうが、値上げ率はどれくらいを見込んでいますか。

○事務局長（鈴木センター長）：

資料3ページで副食費の減額について説明させていただきましたが、主食費や牛乳費については増加しており、それらも踏まえて副食費の増加率を検討し、平均値等を考慮し、概ね6%から10%くらいの範囲で検討することになると考えます。

○中村理事長：

確かな数字が出てきたら、皆さんで審議して決めていきたいと思います。

事務局から他にありますか。

○事務局長（鈴木センター長）：

次回の理事会につきましては、平成30年度の決算報告を6月に開催を予定しております。

時期が決まりましたら、別途ご案内させていただきます。

また、年度が替わり人事異動があった場合は、後任の理事に当たる方への引き継ぎ方よろしく願いたします。

事務局からは以上になります。

○中村理事長：

これで、第2回江別市学校給食会理事会を終わります。

(15:55 散会)